２．調査全体計画

（１）他組織との連携による北海道と東北地方の広域連携軸の深度化

- 平成 25 年度調査で検討した連携軸のうち「観光ルートの作成」は、北海道新幹線開通を起爆剤とした誘客を狙う沿線自治体、民間事業者等においても同時並行で検討を進めていることから、他組織の最新の検討動向を把握し、新たな周遊ルートの検討を行う。

（２）既存共通乗車券の道南・東北相互活用の可能性検討

- 共通乗車券、共通割引クーポン券に対する観光客のニーズは高いため、調査検討エリアにある共通乗車券の相互活用のための課題を明らかにする。

（３）北海道と東北の広域連携による観光需要創出の可能性検討

- 北海道においては、台湾人の入込みが多く、ターゲットにも据えている地域であるため、今後も入込数の増加が期待される。そのため、台湾人観光客の観光動態、観光目的等のニーズを把握する。
- また、外国人観光客は、日本観光客と比較して「言葉の壁（案内の言語多言語化）」「通信環境」「自動車運転」等、受入環境整備に起因する円滑な周遊の阻害要因が多くなっていることから、広域的な周遊を実施するために、解決すべき受入環境を把握できる調査設計を行い、効果的な周遊促進策を検討する。